

## /// 支部だより /// 《栃木県支部》

### 平成15年3月8日、学術講演会開催



栃木県支部では、毎年2回の学術講演会を開催していますが、うち1回は総会の時に神奈川歯科大学同窓会関係の先生を講師としてお招きして学術講演会を開催しています。

今年は、3月8日に定例総会並びに学術講演会が開催されましたが、学術講演会は、講師として母校の補綴学講座かみ合わせ外来主任の玉置勝司先生をお招きして「シーケンシャル咬合の理論と臨床応用」という演題で、咬合治療から心身医学、精神医学にわたる内容の濃い講演となりました。

下顎運動から得られる機能診断、咬頭嵌合位の診断、パラファンクションとしてのブラキシズムの診断、歯のガイダンスが咀嚼筋の活動および下顎頭運動にどのような

影響を与えるかなどについてお話しいたいただきクラウン・ブリッジによる小さな咬合回復の症例から広範囲にわたる咬合構成の症例にいかに関与するかを機能的側面を中心に豊富なスライドをもちいてわかりやすくお話しいたいただき、また、外来患者の1～2割が身体表現性障害を持っており、その治療の原則として適切なインフォームドコンセントを行なうこと、安易な診断的治療をしないことなど臨床で注意すべきことにも触れていただき予定の時間があっというまに過ぎてしまいました。

講演会終了後、懇親会が行なわれ色々な話題でおおいに盛り上がり、にぎやかなうちに閉会となりました。

栃木県支部12回生 小林幸雄